

お客様 各位

高千穂産業株式会社

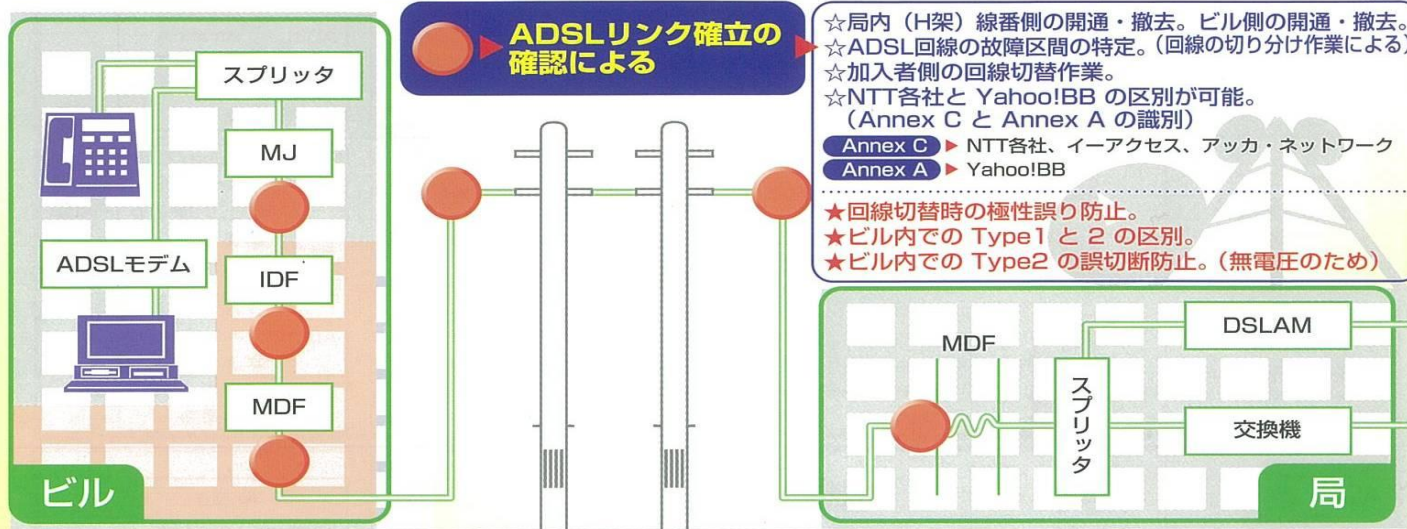
ADSL信号チェッカ ご案内

ADSL ISDN (Bch・Dch) アナログ 極性 対応

PAT.P

現場ニーズ
による改良ハンドシェイク方式を採用した回線開通試験を目的としたリンク確立に
データ確立可能か否かの判断を新機能として追加!

IAC-SP ADSL信号チェッカ



通常、宅内設置のADSLモデムには、リンク確立として

- ①ハンドシェイク方式による
モデム ↔ DSLAM 間の回線開通試験
- ②データ確立が可能か否かのトレーニング
の2種類を有します。

New!

データ確立可能か否かの
判断: ADSL信号の伝送損失レベル
によって、
リンク確立ボタンの緑ランプ
表示が変化します。

点灯: 0~40dB

→ 収容局 DSLAM から
約2.5km以内。
安定した接続が可能なレベルです。

速い点滅: 41~45dB

→ 約2.5~3.2km近辺
グレーゾーンを表す。
ノイズ等により接続が
不安定になることがあります。

遅い点滅: 46~60dB

→ 約3.2~5km近辺
ノイズやブリッジタプ等により
接続が不安定であったり、
出来ない場合が多くなります。



- 添付: ワニ口クリップ付MJコード(1本)
アルカリ単3電池(2本)
- オプション: MJ接続コード各種
256、258、200UTS、40A/45A
ニッケル水素電池付充電器
- サイズ: 縦128×幅64×高さ28mm
- 質量: 190g

IAC-SPIは

ハンドシェイク方式のみを採用
した製品で、ADSLの伝送損失
60dB (5kmに相当) まで
DSLAM信号受信可能とした
製品です。

リンク確立試験ボタンを押す

Annex C } C又はAいずれかの
Annex A } LED が点滅

ADSLのリンク確立

DSLAM→IAC-SP**局側断線の場合、モデムを検出**

ADSL上りが点灯

IAC-SP←ADSLモデムADSL 上り } キャリア有り点灯
下り }**Type 1**

アナログ使用中点灯+ADSL 上り/下り点灯
アナログ空き点灯 +ADSL 上り/下り点灯

Type 2 <無電圧>

ADSL 上り/下りのみ点灯

状 態	接続イメージ	表 示
ADSL回線 リンク確立 ➡リンク確立試験 ボタンを押す (データ確立→表頁参照)		● Annex C ○ Annex A ○ 上り ○ 下り ADSL ←点灯
局側断線の場合 ADSLモデム を検出		○ Annex C ○ Annex A ● 上り ○ 下り ADSL ←点灯 (アカ)
Type1 モデム(通信中)起動中 電話通話中		○ Annex C ○ Annex A ● 上り ● 下り ○ 空き ● 使用中 ADSL ←点灯 アナログ ←点灯
Type1 モデム起動中 電話非使用中		○ Annex C ○ Annex A ● 上り ● 下り ● 空き ○ 使用中 ADSL ←点灯 アナログ ←点灯
Type2 モデム起動中		○ Annex C ○ Annex A ● 上り ● 下り ○ 空き ○ 使用中 ADSL ←点灯 アナログ ←点灯
ISDN回線 端末OFF (呼毎起動)		● 空き ○ キャリア/ データ 有 ISDN ←点灯 (ミドリ)
端末OFF または 非通信中 (常時起動)		○ 空き ● キャリア/ データ 有 ISDN ←点灯 ←時々点滅
アナログ端末 使用 中		○ 空き ● キャリア/ データ 有 ISDN ←点滅
デジタル端末 使用 中		○ 空き ● キャリア/ データ 有 ISDN ←点滅
アナログ回線 非使用中	線 間 電 圧 : 41~55V デジタル信号 : なし	● 空き ○ 使用中 アナログ ←点灯 (ミドリ)
使用 中	線 間 電 圧 : 3~40V デジタル信号 : なし	○ 空き ● 使用中 アナログ ←点灯 (アカ)
極性判定	線間電圧(約3V以上)の極性により、極性ランプが点灯します L1(A)が+、L2(B)が-の場合 L1(A)が-、L2(B)が+の場合	(通信中は発信者側の極性がリバースします) 「A : +」が点灯 「B : +」が点灯

商品コード 「99999」(システムにてご注文の場合)
価格・送料等 お問合せください。

【お問合せ先】

九州通信産業株式会社 営業部 第二営業課 吉田 宮原

TEL:(096)245-3111 FAX:(096)245-3011 E-mail:support@kyutusan.co.jp